事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	☐			法定の基準守れている
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をして いる場合は基準を満たしているか）	☐			児童の様子により基準以上に配置して いる日もある
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の 配慮が適切になされているか		☐		玄関の段差は改善したい 室内の段差はほとんどない、トイレには手 すり等を設置済み
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収 材の取付など）	☐			蛍光灯は全てLEDを設置 ガラスには飛散防止フィルムを張っている
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返り に、広く職員が参画しているか	☐			業務改善書類を整備している 始業時、終業時や研修などで広く職員の意見等 を取り入れ多くの職員の参画を仰いでいる
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意見等を把握 し、業務改善につなげているか	☐			事業者向け同様、保護者向けにもアン ケートを実施
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	☐			HPにて掲載
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			☐	第3者による外部評価は行っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	☐			ヘルパー研修と職員研修を月2回づつ 行っている
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	☐			アセスメントは多くの職員に参加してもら い一つの視点からではなく多角的な視点で の計画作成を行っている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	☐			事業所内で独自にアセスメントシート を作成し1年ごとに更新している
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐			独自の運動プログラムを実施、計画に は運動指導チームを中心に行っている
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫して いるか	☐			運動指導をする職員を変えたり毎日 違った運動プログラムを提供している
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細 やかに設定して支援しているか	☐			大きな課題を決めそこに準じた活動内 容をこまかに設定しているが、すべて の職員がその意識での支援ができてい るかというところも力不足も感じている
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	☐			個別のニーズでの対応と、集団での適 応を考慮した計画作成を行っている
	16	支援開所前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認 しているか	☐			朝礼の際に確認している

児 供	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	☐			終礼の際に確認している
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☐			基本の形式以外にも職員間での児童の様子共有用に特化したものなども活用している
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	☐			定期的にモニタリングを行うことで児童がどのような目標や課題があるか職員に周知してもらっている
	20	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	☐			運動器具を使う際の補助の指導等研修を行っている、一人一人が高い意識で補助等に取り組んでいける指導はもう少し必要である
	21	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	☐			児童に合わせた内容の考案など行っている
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	☐			ガイドラインを職員間で周知し意識的に行えるようにしている
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	☐			会議での内容をもとに日々の支援の基盤作っていく事を考え、会議の出席者を考えている
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	☐			学校や個別の先生によって難しい場面もあるが放課後等デイサービスの周知とともに共有もスムーズになってきている
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	☐			医療的ケアが必要な児童の受け入れは現時点では行っていない
	26	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	☐			会議の時や送迎時など確認をするように意識している
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	☐			児童や相談支援員によって行っている場合もあるが限られている
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	☐			資料等の準備を行っている
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	☐			研修等には積極的に参加している
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	☐			コロナ渦もあり進んでいないのが現状また、学童の支援員の先生からは要望を受けるが市の管轄の方の理解を得るのが難しいケースもあった
	31	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	☐			参加している
	32	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	☐			活動の写真を撮りお渡ししている
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐			一定の職員は行えているが、職員全員が習得していけるよう研修等を行っていきたい
	34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	☐			ペアレントトレーニング等あえて行ってはいないが児童発達管理責任者は助言、相談業務等行っている

保護者への説明責任等	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			契約時説明を行っている
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			児童発達管理責任者が中心に行っている
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		☐		昨年の実施は難しかったが今年は実施したいと考えている
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☐			苦情解決責任者や苦情対応の様式を作成している 保護者様には契約時に説明している
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	☐			毎月おたよりを作成し配布している
	40	個人情報に十分注意しているか	☐			個人情報使用同意書の説明、署名を頂いている
	41	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	☐			契約時に細かい説明と同意をもらっている
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	☐			視覚的なツールや携帯でのアプリ等活用を行っている
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	☐			地域のお祭り参加や今後も地域の方たちとの交流の場を設けていく
非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	☐			事業所内の研修にてマニュアル読み合わせを行っている 保護者様への周知の仕方を工夫したい
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	☐			年に2回春と秋に実施している、保護者様には連絡帳で知らせているが今後会報等でお知らせしていきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	☐			虐待防止研修は年に2回実施している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	☐			重要事項説明書に記載 契約時に保護者様と読み合わせ確認を行っている
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	☐			医師と保護者様に確認し、個別に緊急時のマニュアルを作成をしている
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	☐			行っている